

Webを活用した地域学習の実践的研究

-「ふくしまの郷土学習」Webサイトを活用して-

http://www.frl.fks.ed.jp/

長期研究員 馬場 秀之

はじめに

コンピュータネットワークは、膨大な「教育情報の共有化」を生み出しつつある。しかし、それは世界的・日本的なレベルの話で、県市町村レベルとなるとまだ少ないのが現状である。地域情報の発信源となるべき学校や各種文化施設のWeb情報も、授業では活用しにくい状況にある*1。さらに教師自身による教育用Webが未だに少ないことは憂慮すべきである。印刷物による情報提供は従来通り存在するが、そのデジタル共有化は遅れていると言わざるを得ない。学校、文化施設及び教師が、その専門性を生かして児童生徒向けのWebを提供すれば、様々な課題解決学習に役立ち、情報活用能力の向上へと繋がるはずである。そして、福島県における「教育の情報化」は一気に進むと思われる。

そこで今年度の研究では、地域の様々な教育資料を共有化する場として、福島県域の地域学習Webを開設し、地域素材のデジタル教材化とその共有化を目指す。



(図1) ホームページ

ページレイアウトは、左側にメニュー、右側にメインページを配する2フレーム形式とした。基本的にPhotoshopを用いてJavaScript形式で書き出す作業を行った。

研究の概要

FKS*2に開設した「ふくしまの郷土学習」Webサイト(<http://www.frl.fks.ed.jp/>)は、子どもたちが楽しく地域学習に取り組めるように、視覚に訴える動きのある資料を多くするなどの工夫をした。

ホームページには以下のメニューがある。

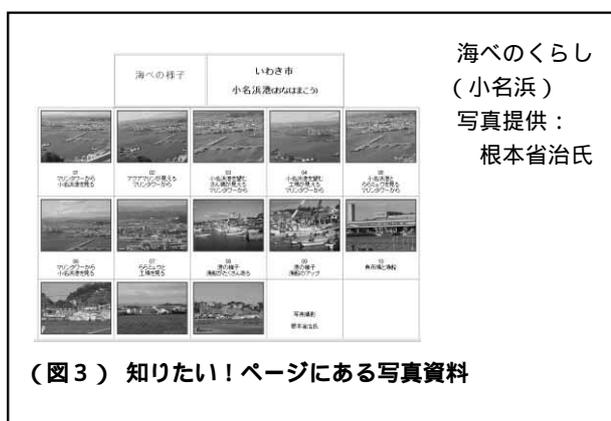
1 見る資料集



(図2) 見る資料集のメニュー

各地の特徴的な写真(図3)、各種地図(図4・5)、白地図(図6)等、視覚的な資料と市町村Webへのリンク、郷土学習資料へのリンクなどがある。

2 知りたい!



(図3) 知りたい! ページにある写真資料

*1 このような中で、FKS(<http://www.fks.ed.jp/>)と、通称「まほろん」(<http://www.mahoron.fks.ed.jp/>)のWebは貴重な存在である。

*2 FKS(ふくしま教育総合ネットワーク)